

地図



国文祭・芸文祭みやざき2020プレイベント
「ゆかいな劇場の作り方」観覧申込書 FAX:0985-26-7414

代表者氏名	代表者を含めた参加人数			名
代表者住所				
電話番号	メールアドレス			
車椅子でのご来場	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	手話通訳利用の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
当日の交通手段等	<input type="checkbox"/> 車(障がい者用駐車場必要) <input type="checkbox"/> 公共交通機関など(駐車場不要) <input type="checkbox"/> 車(駐車場必要) ←混み状況によってはご利用いただけません。			
託児利用の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	託児利用人数	名	
観劇希望のイベント	<input type="checkbox"/> シンポジウム(3日)	<input checked="" type="checkbox"/> 映画(鳥取県)	<input type="checkbox"/> 3日(土)	<input type="checkbox"/> 4日(日)
演劇(広島県)	<input type="checkbox"/> 3日(土)16:30~	<input type="checkbox"/> 4日(日)11:00~	<input type="checkbox"/> トークイベント4日(日)	
演劇(宮崎県)	<input type="checkbox"/> 3日(土)14:00~	<input type="checkbox"/> 3日(土)17:30~	<input type="checkbox"/> 4日(日)15:00~	

※該当する項目・観覧希望のイベントの□を塗りつぶし、■にしてください。
※後日、参加証を郵送しますので、当日持参いただきますようお願いいたします。

申込期限:3月26日(金)



国文祭・芸文祭みやざき2020プレイベント

入場料
無料(要予約)

ゆかいな劇場の 作り方

そこへ夜行って歌えば、またそこで風を吸えば、
もう元気がついてあしたの仕事中 からだいっぱい勢がよくて面白いような、
そういうポラーノの広場をぼくらはみんなでこさえよう。

(宮沢賢治「ポラーノの広場」)

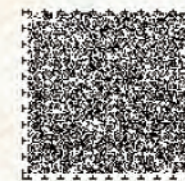
みやざき〇まあるい劇場
(宮崎)

じゅう劇場
(鳥取)

おきらく劇場ピロシマ
(広島)

日時 2021年4月3日(土)10時~18時
4月4日(日)11時~15時30分

会場 宮崎県庁各施設特設劇場
空のひろば(防災拠点庁舎7階会議室)
レンガのひろば(5号館)
本館ひろば(本館2階講堂)



Uni-Voice
専用読み取り装置やスマホアプリを利用
して、情報を音声で聞くことができます。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

主催
厚生労働省 文化庁 宮崎県 宮崎県教育委員会 第35回国民文化祭宮崎県実行委員会
第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 合同会社こぶく劇場 舞台芸術制作室 無色透明



宮沢賢治が描いた理想の広場。

いまこそ、そんな広場=劇場はこさえられないか、映画を観たり、短いお芝居を観たり、
みんなでおしゃべりをしたりして、考えてみたいと思います。

どうぞお気軽にご参加ください。

ゆがま劇場のつくり方

タイムテーブル 2021年 4月3日(土) 10:00 - 18:00

4月4日(日) 11:00 - 15:30

地図は裏面をご覧ください

	空のひろば (県庁防災庁舎7階)	レンガのひろば (県庁5号館)	本館ひろば (本館2階講堂)
	4.3(土)		
10:00-13:00	シンポジウム		
14:00-14:30		みやざき◎まあるい劇場	
15:00-16:10	【映画上映】 じゆう劇場		
16:30-17:00			おきらく劇場ピロシマ
17:30-18:00		みやざき◎まあるい劇場	
	4.4(日)		
11:00-11:30			おきらく劇場ピロシマ
11:30-12:30			【トーク】 「ゆがま劇場のつくり方」
13:30-14:40	【映画上映】 じゆう劇場		
15:00-15:30		みやざき◎まあるい劇場	

4月4日(日)
8:00~12:00は
県庁本館前楠並木通りで
朝市(物産展)も
開催予定です。

参加申込みについて

入場料等: 無料(要予約) 定員: シンポジウム・映画上映 各100名、演劇公演・トークイベント 各50名

その他: 無料の託児サービスもご利用いただけます。(要予約)

申込方法: 大会公式ホームページ(「国文祭・芸文祭みやざき」で検索)掲載のURL、
電話またはFAXでお申し込みください。

申込期限 3月26日(金) (電話は17時まで)

お問合せ・申込先: 宮崎県総合政策部国民文化祭・障害者芸術文化祭課
電話 0985-26-7412
FAX 0985-26-7414

シンポジウム

「2021年。いまこそ『みやざき県ゆかいアート村』」



ファシリテーター: 山森達也
(アーツカウンシルみやざき プログラムオフィサー)

第1部 パネルディスカッション(10:10~11:30)

芸文祭との関わりや今後取り組むべき課題などについて意見を交わします。

パネリスト: 山田良一 (宮崎わたぼうし会会長)
高峰由美 (株式会社ブルーパニーカンパニー代表取締役)
青井美保 (高鍋町美術館学芸員)
愛甲貴大 (アートステーションどんこや生活支援員) ほか

第2部 対談(11:50~13:00)

今、芸術文化事業を行う意義や必要性、社会的役割について考えます。

吉野さつき教授 (撮影 杉本文) パネリスト: 吉野さつき (愛知大学教授)
永山智行 (劇団こぶく劇場、芸文祭コーディネーター)

出演劇団

みやざき◎まあるい劇場(宮崎)

「素敵な日曜日」

~日曜日。お金のないヒロオとリエは、
デートで野外音楽堂での無料コンサートに
やってきたのだが……

作/野海靖治・永山智行(劇団こぶく劇場)
演出/永山智行
出演/大村なつみ・優磨・森菜都子・吉野由夏・和田祥吾/
かみもと千春・濱砂崇浩・大迫紗佑里・有村香澄
(以上・劇団こぶく劇場) ほか



福祉作業所アートステーションどんこや
(宮崎市)と劇団こぶく劇場は、2001年か
ら毎年ワークショップなどを重ね、その後、障
がいの有無にかかわらず、様々な市民が創造
に参加する「みやざき◎まあるい劇場」プロジ
ェクトをスタートし、2007年2月には、その第
1弾として『隣の町』(作・演出/永山智行)を
県内2箇所で開催。以降、『青空』(2009)『奏
でる』(2013)『青空カラー』(2014)と、全国
各地での上演を続けている。

おきらく劇場ピロシマ(広島)

「ウタとナンタの人助け2021」

~広島の猿猴川に落ちてしまった少年マサル。
そこには、カッパの仲間「えんこう」たちの暮らす
別世界「ピロシマ」があった……

脚本/柳沼昭徳(烏丸ストロークロック)
演出/舞台芸術制作室無色透明
出演/大和なゆた・岡本美乃里・古志英隆・下垣内律子
柴田苺・木村友香・坂田光平・長澤拓真・東圭香 小林冴季子
スタッフ/佐々木正和、岩崎きえ、藤井友紀
協力/認定NPO法人ひゅーるぼん
助成/令和2年度障害者による文化芸術活動推進事業
(文化庁)



2017年結成。障がいのある人ない人、子ど
もたちや学生、福祉の専門家、俳優、舞台スタ
ッフなど様々な人々が、共に演劇を創る過程
の中で生まれるつながりで構成されている劇団。
障がいの有無やそれぞれのコミュニティの境
界を「おきらくごきらく」の合言葉でひょいっ
と飛び超え、舞台活動を通じて豊かな共生社会
をみんなでわいわい創ることを目指している。

※4日のトークイベントでは、おきらく劇場ピロシマとみやざ
き◎まあるい劇場のスタッフが、創作の裏側をお話します。

じゆう劇場(鳥取)

ドキュメンタリー映画 「じゆう劇場の瞬き」(2017)

~2016年度の舞台作品『じゆう劇場版「銀河鉄道の夜」』
の創作の現場で撮影されたドキュメンタリー作品。

撮影・編集・監督/山崎樹一郎
出演/井谷優太・後藤詩織・國石百加・島田ひかる
西垣伸子・西野八重子・樋引あすか・福角幸子・福角宜弘
三好眞太郎・矢吹誠浩・齊藤頼陽・高橋等・中島諒人



鳥の劇場プロデュースのもと、2013年8月
に活動を開始したプロジェクト。障がいのある
人、ない人がいっしょに舞台を作り、日常では
隠れがちそれぞれの豊かさを発見し、観客
と分かち合うことを目指す。継続的に作品を作
り、鳥取県内外で作品を発表。2017年には
「日本/フランス 障害者の文化芸術国際交
流事業 2017ジャパンxナントプロジェクト」
でフランス・ナント市で、2019年にはタイ・バ
ンコクで上演し大好評を博した。